

日本血液学会 会員各位

既に報道等でご存知の方も多いことと存じますが、2018年6月に本邦で自家末梢血幹細胞採取に関連する死亡事故が発生しました(参照1)。本件の原因については医療事故対策委員会で調査中とのことですが、左鎖骨上からのカテーテル挿入に伴う胸腔内への出血が原因として想定されています。過去の末梢血幹細胞採取に係る死亡事例と併せて日本造血細胞移植学会の見解が公表されていますのでご覧ください(参照2)。また、末梢血幹細胞採取については日本造血細胞移植学会が作成した「同種末梢血幹細胞移植のための健常人ドナーからの末梢血幹細胞動員・採取 第5版(2014年5月改訂)」(参照3)や、日本骨髄バンクの「末梢血幹細胞採取マニュアル暫定版」(参照4)等を参照し、安全で適正な末梢血幹細胞採取の実施をお願いいたします。

2018年7月20日

日本血液学会 診療委員長 神田 善伸
理事長 赤司 浩一

参照

1. <https://www.pref.saitama.lg.jp/80a02/top-news/20171122n.html>
2. <https://www.jshct.com/uploads/files/news/20180702.pdf>
3. https://www.jshct.com/uploads/files/guideline/08m_pbsc_harvest.pdf
4. http://www.jmdp.or.jp/documents/file/04_medical/f-up03a.pdf